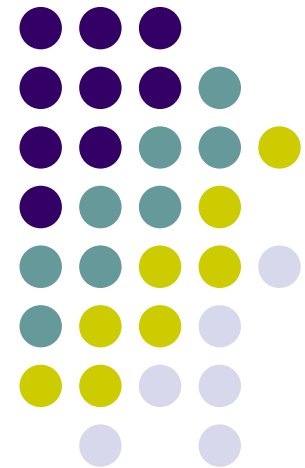


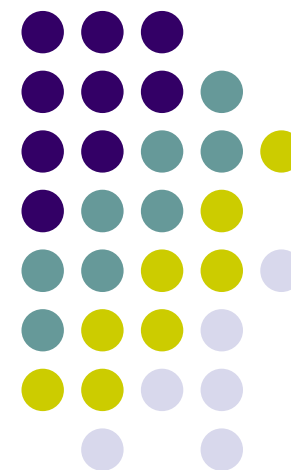
東京ガス株式会社

2010年 3月期
第1四半期決算

2009年7月30日



連結決算概況



10.3月期 第1四半期決算ハイライト



- 前年同期比 減収増益
- TG個別：ガス粗利増・固定費増
- 連結子会社：営業・経常利益前年度並み、特別利益減
(前期：特別利益 94億円 [リース会計基準適用影響他])

	FY09 1Q	FY08 1Q	増減
都市ガス販売量 (45MJ/m ³)	30.8億 m ³	34.5億 m ³	▲3.7億 m ³
売上高	3,424億円	3,771億円	▲347 億円
営業利益	502億円	174億円	+328億円
経常利益	523億円	160億円	+363億円
四半期純利益	332億円	164億円	+168億円

経済 フレーム	原油価格	為替	気温
FY09 1Q	\$52.52/bbl	97.36円/\$	19.4℃
FY08 1Q	\$109.92/bbl	104.56円/\$	18.2℃

セグメント別 売上高・営業損益



(億円)

	売上高		営業利益		主な差異要因
	FY09 1Q	FY08 1Q	FY09 1Q	FY08 1Q	
ガス	2,642(▲262)	2,904	621(+330)	291	売上：ガス販売量減・単価減により減少 利益：原材料費減少により増加
ガス器具	249(▲17)	266	2(▲5)	7	売上：TG▲26
受注工事	81(▲16)	97	▲8(▲3)	▲5	売上：新設件数減(▲16%)による減少
不動産賃貸	85(▲3)	88	22(▲3)	25	
その他	683(▲85)	768	23(+9)	14	エネルギーサービス +8 (LNG事業利益増) 船舶事業利益減 ▲3 (自社船増による減価償却費増)等
消去又は全社	▲318(+34)	▲352	▲159(▲1)	▲158	
連結	3,424(▲347)	3,771	502(+328)	174	

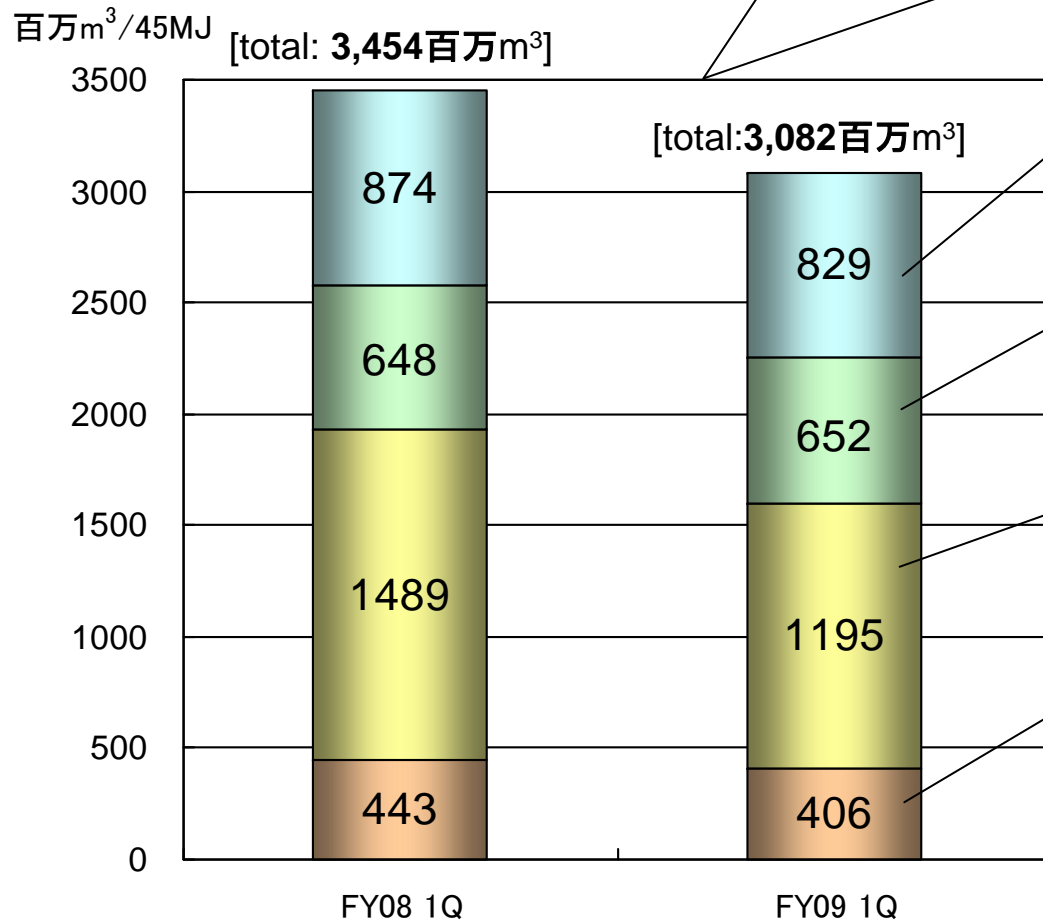
(注) () 内は前年同期比増減

セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

ガスセグメント：販売量実績



対前期比 ▲372百万m³ (10.8%減)
 [内大口供給 ▲303百万m³ (17.5%減)]



FY08 1Q → FY09 1Q 増減要因

- 家庭用 ▲5.2% (▲45百万m³)**
 - ・高気温による給湯需要の減少
 - ・お客さま件数の増加
- 商業用その他 +0.6% (+4百万m³)**
 - ・高気温による給湯需要の減少(▲2.6%)
 - ・新規設備向け供給増(+8.4%)
- 工業用 ▲19.7% (▲294百万m³)**
 - ・既存設備の稼働減
- 卸供給 ▲8.3% (▲37百万m³)**
 - ・供給先事業者の需要減

需要家件数		(万件)
FY09 1Q	FY08 1Q	増減
1,053.9	1,039.7	14.2

(参考) 平均気温: +1.2°C (18.2⇒19.4)

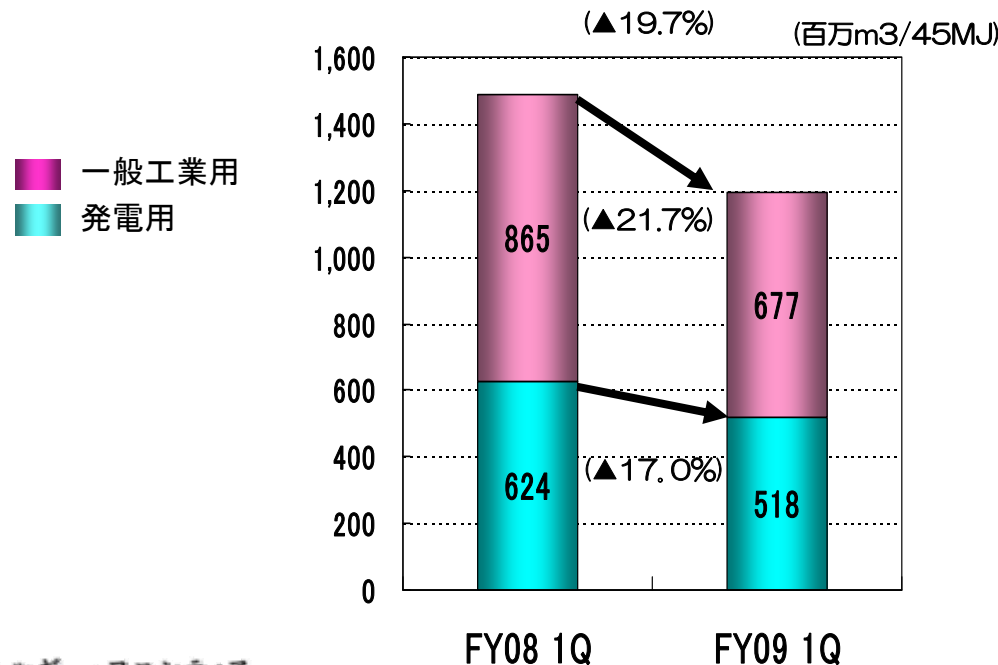
(百万m³未満四捨五入)

工業用ガス販売量

1,195百万m³ (▲294百万m³ ▲19.7%)



- 一般工業用（発電用以外）▲188百万m³（▲21.7%）
08年度第4四半期の下落幅よりは改善したものの、依然販売量は低迷。
- 発電用 ▲106百万m³（▲17.0%）
既存IPP定修等による稼働減等

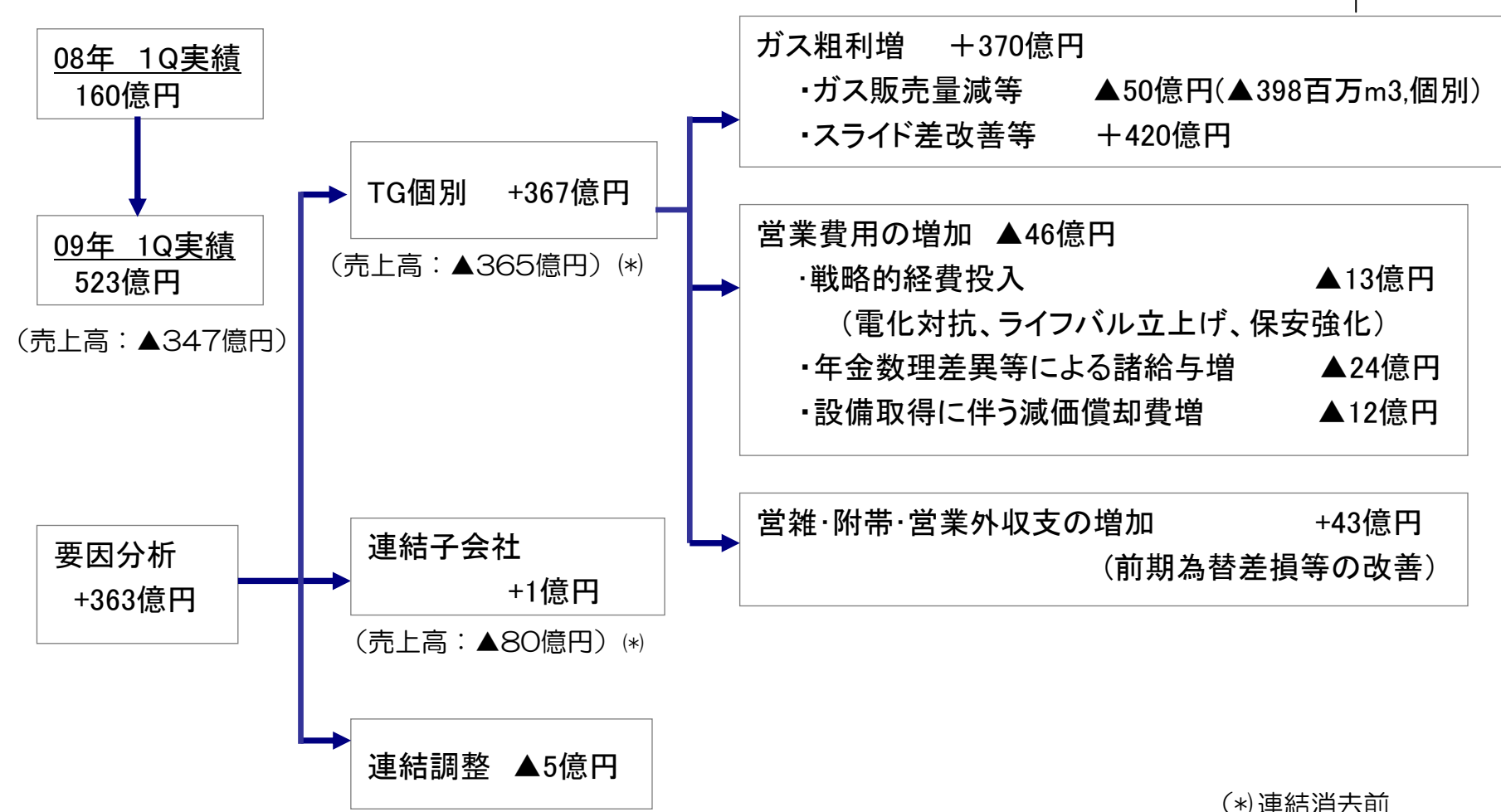


(参考) 個別工業用販売増減

	FY09 1Q (対08 1Q)	FY08 4Q (対07 4Q)
一般工業用	▲22.7%	▲24.9%
発電用	▲22.4%	▲17.2%

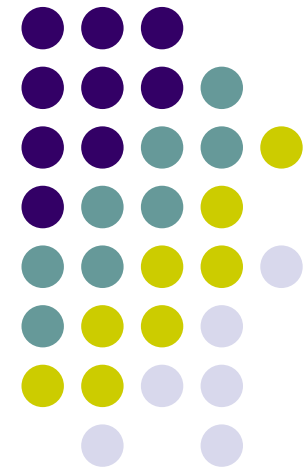


経常利益 対前年同期比 要因分析



(*) 連結消去前

2009年度 連結収支見通し



2009年度 収支見通し



- 経済フレーム見直し(原油価格、為替レート)
- TG個別:ガス売上高、原材料費増加により
ガス粗利は、ほぼ4/28発表見通しどおり。
- 利益見通し変更なし。

	今回見通し	4/28見通し	増減	08年度実績
都市ガス販売量 (45MJ/m ³)	133.9億 m ³	134.7億 m ³	▲0.8億 m ³	139.4億 m ³
売上高	14,140億円	13,810億円	+330億円	16,601億円
営業利益	720億円	730億円	▲10億円	652億円
経常利益	640億円	640億円	-	583億円
当期純利益	420億円	420億円	-	417億円
営業CF	1,910億円	1,910億円	-	1,827億円
ROA	2.3%	2.4%	▲0.1%	2.4%
ROE	5.4%	5.4%	-	5.4%
TEP (WACC)	▲1億円(3.4%)	▲1億円(3.4%)	-	▲48億円(3.4%)

営業CF=当期純利益+

長期前払費用償却含減価償却費

原油価格・為替レート変動の収支影響感度(通期)

	粗利(億円)
(+)1\$/bbl	▲8
(+)1円/\$	▲4

経済フレーム	今回見通し	4/28見通し	FY08
原油価格	\$65.63/bbl	\$50.0/bbl	\$90.52/bbl
為替	95.59円/\$	100.0円/\$	100.71円/\$

(7月以降)原油価格:70ドル/バレル 為替レート:95円/ドル

セグメント別 売上高・営業損益 見通し



(億円)

	売上高		営業利益		主な差異要因
	今回見通し	4/28見通し	今回見通し	4/28見通し	
ガス	10,411(+270)	10,141	1,300(▲10)	1,310	売上高：販売量減だが単価増により増収 営業利益：原材料費増により減益
ガス器具	1,316 (-)	1,316	12(-)	12	
受注工事	508(-)	508	▲3(-)	▲3	
不動産賃貸	342(-)	342	70(-)	70	
その他	2,998(+60)	2,938	110(-)	110	
消去又は全社	▲1,435	▲1,435	▲769	▲769	
連結	14,140(+330)	13,810	720(▲10)	730	

(注) () 内は4月28日見通し比増減
セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

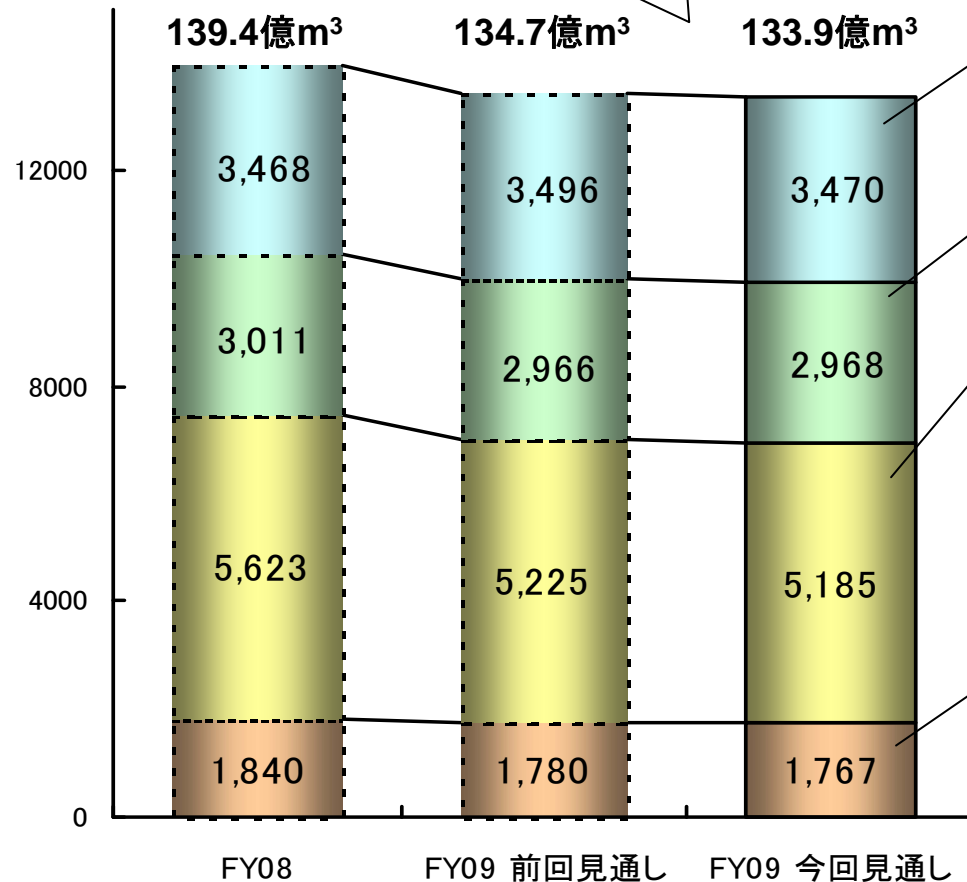
ガス販売量見通し(対4/28見通し)



対4/28見通し比 ▲77百万m³ (▲0.6%)

(百万m³ / 45MJ)

<4/28見通し → 今回見通し>



家庭用 ▲0.7% (▲26百万m³)
 ・ 第1Qの販売量実績を反映

商業用その他 +0.1% (+1.8百万m³)
 ・ 第1Qの販売量実績を反映

工業用 ▲0.8% (▲40百万m³)
 ・ 一般工業用
 第1Q実績は対当初計画を下回るものの、
 第3Q以降は対計画増 +6百万m³
 ・ 発電用
 既存設備の稼働減等を反映 ▲47百万m³

卸供給 ▲0.7% (▲13百万m³)
 ・ 卸供給先新規大口増分を反映するもの
 の既存設備の稼働減により減少

(百万m³未満四捨五入)

参考資料

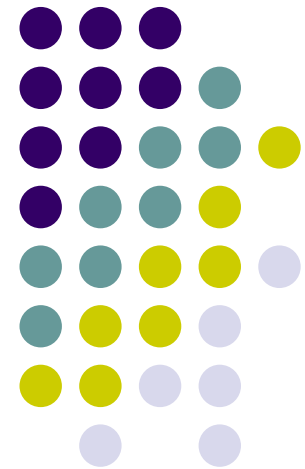
実績編（当期 対 前期）

- ・ 連結 主要決算数値 P.13
- ・ 個別 主要決算数値 P.14
- 営業主要計数・諸経費内訳 P.15

見通し編（今回[7/30]見通し 対 前回[4/28]見通し）

- ・ 経済フレーム 及び 年度収支影響感度（個別） P.17
- ・ 連結 主要決算数値（通期 & 第2四半期） P.18
- ・ 個別 主要決算数値（通期） P.19
- 営業主要計数・諸経費内訳（通期） P.20
- 主要決算数値（第2四半期） P.21
- 営業主要計数・諸経費内訳（第2四半期） P.22
- 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳 P.23

実績編



連結 主要決算数値

第1四半期実績（当期対前期）

億円



	今期	前年同期	増減		備考
売上高	3,424	3,771	▲ 347	▲ 9.2%	ガス売上高▲262
営業利益	502	174	328	187.1%	ガス営業利益+330
経常利益	523	160	363	226.0%	<営業外損益>為替レート差損益+22、商品デリバティブ+7、天候デリバティブ+7
四半期純利益	332	164	168	102.3%	<特別損益>特別利益減(前年同期：リース会計基準の適用に伴う影響額78、厚生年金基金代行返上益15)で▲94、利益増に伴う法人税等増で▲100

総資産	17,145	17,641	▲ 496	▲ 2.8%	受取手形及び売掛金▲487、原材料及び貯蔵品▲112、投資有価証券+179
自己資本	8,081	7,723	358	4.6%	利益剰余金増(四半期純利益計上+332、剰余金の配当▲108等)+220、評価・換算差額等増(その他有価証券評価差額金+75等)+137
自己資本比率	47.1%	43.8%	3.3	-	総資産減、自己資本増
総資本回転率	0.20	0.22	▲ 0.02	-	総資産期中平均残高増、売上高減
有利子負債残高	5,689	5,932	▲ 243	▲ 4.1%	東京ガス▲232、東京ガス都市開発▲90、Tokyo Gas Pluto+52、ティージー・クレジットサービス+32(それぞれ連結ベース)
四半期純利益	332	164	168	102.3%	
減価償却(*2・3)	347	327	20	6.4%	東京ガス+11、東京エルエヌジータンカー+7
営業CF(*1)	680	491	189	38.4%	
設備投資(*2)	296	301	▲ 5	▲ 1.8%	東京エルエヌジータンカー▲31、Tokyo Gas Pluto+11、東京ガス+5
1株あたり当期純利益	12.25	6.21	6.04	97.3%	
1株あたり純資産	297.91	284.72	13.19	4.6%	

今期（2009年4月～6月）は連結65社（東京ガス+連結子会社60社+持分法適用関連会社4社）、

前年同期は連結62社（東京ガス+連結子会社57社+持分法適用関連会社4社）

前年同期数値は、P/L系の項目は前年同四半期数値を表示、B/S系の項目は前期末数値を表示

(*1) 営業キャッシュ・フローは「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(*2) 設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(*3) 減価償却には長期前払費用償却を含む

個別 主要決算数値

第1四半期実績（当期対前期）

億円

	今期	前年同期	増減	
総売上高	2,987	3,352	▲365	▲10.9%
営業利益	462	130	332	254.2%
経常利益	483	116	367	316.6%
当期純利益	315	78	237	302.7%

製品売上高（ガス売上高）	2,564	2,834	▲270	▲9.5%	数量・料金構成差▲227億円、単価差▲43億円	
営業費用	原材料費	1,034	1,674	▲640	▲38.2%	数量・原料構成差▲177億円、単価差▲463億円
	（粗利）	1,529	1,159	370	31.9%	数量・構成差▲50億円、単価差+420億円
	諸給与	320	296	24	8.1%	退職手当+28億円他
	諸経費	523	514	9	1.6%	
	減価償却費	254	242	12	4.8%	中央幹線1期他新規取得に伴う増+12億円
	LNG受託加工費	▲8	▲9	1	▲16.5%	
	計	2,124	2,718	▲594	▲21.9%	
営業雑収支	受注工事収支	▲6	▲4	▲2	-	新設工事▲2億円（件数減▲7.0千件、▲16%）他
	器具販売等収支	17	19	▲2	▲9.1%	GHP▲2億円他
	計	11	14	▲3	▲22.7%	
附帯事業収支	11	0	11	-	LNG販売+8億円	
営業利益	462	130	332	254.2%		
営業外収支	21	▲14	35	-	為替レート差損益+25億円他	
経常利益	483	116	367	316.6%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	168	37	131	345.5%		
当期純利益	315	78	237	302.7%		

料金スライドの収支への影響

億円

	当期	前期	増減
料金によるスライド回収	17.0	78.0	▲61
原料費の増加分	▲216.0	256.0	▲472
差し引き	233.0	▲178.0	411

基準価格に対する増減額



個別 営業主要計数・諸経費内訳

第一四半期実績（当期 対 前期）



1. お客さま件数 千件

	当期	前期	増減	
お客さま件数	10,274	10,141	133	1.3%
新設件数	38	43	▲5	▲11.4%

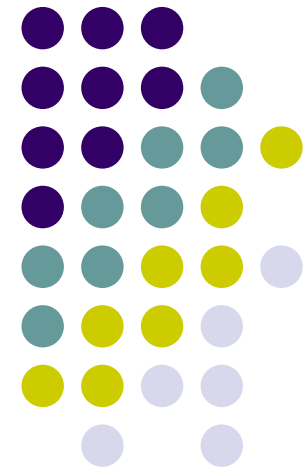
2. 個別ガス販売分析 百万m3 (45MJ)

		当期	前期	増減		備考
家庭用 1 件当り販売量 (m3)		92	98	▲6	▲6.2%	気温影響▲4.7m3(▲4.8%)、その他増減▲1.4m3(▲1.4%)
家庭用		804	848	▲44	▲5.2%	気温影響▲40百万m3(▲4.7%)、件数差+9百万m3(+1.0%)、その他増減▲13百万m3(▲1.5%)
業務用 工業用	商業用	431	443	▲12	▲2.7%	
	その他用	191	175	16	9.2%	
	業務用計	622	618	4	0.6%	気温影響+9百万m3(+1.4%)、その他増減▲5百万m3(▲0.8%)
	発電専用	458	590	▲132	▲22.4%	
	発電専用以外	643	832	▲189	▲22.7%	
	工業用計	1,101	1,422	▲321	▲22.6%	
計		1,723	2,040	▲317	▲15.5%	
卸供給		457	493	▲36	▲7.4%	気温影響▲7百万m3(▲1.5%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲29百万m3(▲5.9%)
合計		2,983	3,381	▲398	▲11.8%	気温影響▲38百万m3(▲1.1%)、発電専用▲132百万m3(▲3.9%)、工業用(発電専用以外)▲189百万m3(▲5.6%)、卸供給(気温影響除き)▲29百万m3(▲0.9%)、その他▲10百万m3(▲0.3%)
(内大口供給)		1,376	1,680	▲304	▲18.1%	

3. 諸経費内訳 億円

	当期	前期	増減		備考
諸経費					
修繕費	73	73	0	▲0.7%	
消耗品費	32	31	1	3.0%	
賃借料	49	50	▲1	▲2.6%	
委託作業費	147	139	8	5.7%	ライフバル委託費増+2億円、安全点検強化+2億円、料金回収手数料増+1億円
租税課金	103	106	▲3	▲2.6%	事業税▲3億円
需要開発費	39	37	2	5.5%	ライフバル向け手数料増+4億円、広告費減▲1億円
その他	80	78	2	1.5%	
合計	523	514	9	1.6%	

見通し編



個別 経済フレーム 及び 年度収支影響感度



経済フレーム

	今回7/30			
	上期	下期	年度	
原油価格	61.26	70.00	65.63	\$/bbl
為替レート	96.18	95.00	95.59	円/\$
	前回4/28			
	上期	下期	年度	
原油価格	50.00	50.00	50.00	\$/bbl
為替レート	100.00	100.00	100.00	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	11.26	20.00	15.63	\$/bbl
為替レート	-3.82	-5.00	-4.41	円/\$

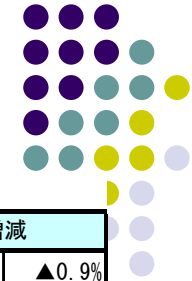
原油価格・為替レート変動の 年度収支影響感度

1 \$/bbl	通年	億円
売上高	▲20	
原材料費	▲28	
粗利	8	

1 円/\$	通年
売上高	▲22
原材料費	▲26
粗利	4

連結 主要決算数値

通期・第2四半期見通し（今回（7/30）対前回（4/28））



	通期見通し				備考	第2四半期見通し			
	今回7/30	前回4/28	増減	増減		今回7/30	前回4/28	増減	増減
売上高	14,140	13,810	330	2.4%	ガス売上高+270	6,290	6,350	▲60	▲0.9%
営業利益	720	730	▲10	▲1.4%	ガス営業利益▲10	420	300	120	40.0%
経常利益	640	640	-	-	営業利益▲10に加え、 営業外損益+10（為替差益増他）	390	260	130	50.0%
当期純利益	420	420	-	-		240	160	80	50.0%

総資産	18,250	17,910	340	1.9%	ガス売掛金他増				
自己資本	7,870	7,870	-	-					
自己資本比率	43.1%	43.9%	▲0.8	-	総資産増				
総資本回転率	0.79	0.78	0.01	-					
ROA(*2)	2.3%	2.4%	▲0.1	-	総資産増				
ROE(*2)	5.4%	5.4%	-	-					
有利子負債残高	6,290	6,010	280	4.7%	東京ガス+280				
D/Eレシオ	0.80	0.76	0.04	-	有利子負債残高増				
当期純利益	420	420	-	-		240	-	-	-
減価償却(*3・4)	1,490	1,490	-	-		720	-	-	-
営業CF(*1)	1,910	1,910	-	-		960	-	-	-
設備投資(*3)	1,510	1,510	-	-		640	-	-	-
TEP	▲1	▲1	-	-					
(WACC)	3.4%	3.4%	-	-					
1株あたり当期純利益	15.48	15.48	-	-					
1株あたり純資産	290.12	290.12	-	-					

今期（2009年4月～6月）は連結65社（東京ガス+連結子会社60社+持分法適用関連会社4社）

- (*1) 営業キャッシュ・フローは「四半期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定
 (*2) ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値
 (*3) 設備投資・減価償却は内部取引相殺後額
 (*4) 減価償却には長期前払費用償却を含む

TEP(Tokyo Gas Economic Profit)について
 TEP=税引後・利払前利益-資本コスト額(投下資本×WACC)
 ・有利子負債コスト 金利(1.24%)
 ・株主資本コスト率(10年国債利回過去10年平均1.47%)、リスクプレミアム4.0%、β0.75
 ・WACC算定に使用する自己資本=08年度平均時価総額

個別 主要決算数値

通期見通し（今回（7/30） 対 前回（4/28））



億円

	今回7/30	前回4/28	増減	
総売上高	12,120	11,790	330	2.8%
営業利益	520	530	▲ 10	▲1.9%
経常利益	500	500	0	-
当期純利益	330	330	0	-

製品売上高（ガス売上高）	10,080	9,810	270	2.8%	数量・料金構成差▲75億円、単価差+345億円	
営業費用	原材料費	4,884	4,618	266	5.8%	数量・原料構成差▲29億円、単価差+295億円
	（粗利）	5,196	5,192	4	0.1%	数量・構成差▲46億円、単価差+50億円
	諸給与	1,282	1,268	14	1.1%	退職手当+3億円 他
	諸経費	2,397	2,397	0	-	
	減価償却費	1,073	1,073	0	-	
	LNG受託加工費	▲ 32	▲ 32	0	-	
	計	9,604	9,324	280	3.0%	
営業雑収支	受注工事収支	1	1	0	-	
	器具販売等収支	29	29	0	-	
	計	30	30	0	-	
附帯事業収支	14	14	0	-		
営業利益	520	530	▲ 10	▲1.9%		
営業外収支	▲ 20	▲ 30	10	-	為替レート差益+6億円他	
経常利益	500	500	0	-		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	170	170	0	-		
当期純利益	330	330	0	-		

料金スライドの収支への影響

億円

	今回7/30	前回4/28	増減
料金によるスライド回収	▲ 564	▲ 936	372
原料費の増加分	▲ 686	▲ 988	302
差し引き	122	52	70

基準価格に対する増減額

個別 営業主要計数・諸経費内訳

通期見通し（今回（7/30）対前回（4/28））



1. お客さま件数

千件

	今回7/30	前回4/28	増減	
お客さま件数	10,360	10,360	0	-
新設件数	214	214	0	-

2. 個別ガス販売分析

百万m3(45MJ)

		今回7/30	前回4/28	増減		備考
家庭用 1件当り販売量 (m3)		383.6	386.2	▲3	▲0.7%	気温影響▲0.9m3 (▲0.2%)、その他増減▲1.7m3 (▲0.5%)
家庭用		3,362	3,388	▲26	▲0.8%	気温影響▲8百万m3 (▲0.2%)、件数差▲3百万m3 (▲0.1%)、その他増減▲15百万m3 (▲0.5%)
業務用	商業用	1,921	1,920	1	0.0%	
	その他用	898	898	0	0.0%	
業務用計		2,819	2,818	1	0.0%	気温影響▲6百万m3 (▲0.2%)、その他増減+7百万m3 (+0.2%)
工業用	発電専用	1,817	1,864	▲47	▲2.5%	発電件名稼働減
	発電専用以外	2,869	2,863	6	0.2%	
	工業用計	4,686	4,727	▲41	▲0.9%	
計		7,506	7,545	▲39	▲0.5%	
卸供給		1,996	2,008	▲12	▲0.6%	気温影響▲1百万m3 (▲0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲11百万m3 (▲0.5%)
合計		12,864	12,941	▲77	▲0.6%	気温影響▲15百万m3 (▲0.1%)、発電専用▲47百万m3 (▲0.4%)、工業用(発電専用以外)+6百万m3 (+0.1%)、卸供給(気温影響除き)▲11百万m3 (▲0.1%)、その他▲10百万m3 (▲0.1%)
(内大口供給)		5,949	5,988	▲39	▲0.6%	

3. 諸経費内訳

億円

	今回7/30	前回4/28	増減		備考
諸経費					
修繕費	361	365	▲4	▲1.1%	
消耗品費	142	147	▲5	▲3.4%	
賃借料	198	198	0	0.0%	
委託作業費	634	634	0	0.0%	
租税課金	400	400	0	0.0%	
需要開発費	276	256	20	7.8%	エネファーム関係費用増+27億円、マス広告費減▲4億円 他
その他	386	397	▲11	▲2.8%	電力料▲5億円、一般固定資産除却減▲4億円 他
合計	2,397	2,397	0	-	

個別 主要決算数値

第2四半期見通し（今回（7/30）対 前回（4/28））



億円

	今回7/30	前回4/28	増減	
総売上高	5,400	5,460	▲60	▲1.1%
営業利益	340	220	120	54.5%
経常利益	350	220	130	59.1%
当期純利益	230	150	80	53.3%

製品売上高（ガス売上高）	4,510	4,570	▲60	▲1.3%	数量・料金構成差▲97億円、単価差+37億円	
営業費用	原材料費	1,960	2,120	▲160	▲7.5%	数量・原料構成差▲51億円、単価差▲109億円
	（粗利）	2,550	2,450	100	4.1%	数量・構成差▲46億円、単価差+146億円
	諸給与	639	633	6	0.9%	退職手当+3億円他
	諸経費	1,104	1,123	▲19	▲1.7%	
	減価償却費	520	520	0	-	
	LNG受託加工費	▲16	▲16	0	-	
計	4,207	4,380	▲173	▲3.9%		
営業雑収支	受注工事収支	▲8	▲8	0	-	
	器具販売等収支	27	24	3	12.5%	器具収支 間接費減他+1億円、 その他雑 基地利用料増他+2億円
計	19	16	3	18.8%		
附帯事業収支	18	14	4	28.6%	LNG販売+3億円	
営業利益	340	220	120	54.5%		
営業外収支	10	0	10	-	為替レート差益+6億円他	
経常利益	350	220	130	59.1%		
特別利益	0	0	0	-		
特別損失	0	0	0	-		
法人税等	120	70	50	71.4%		
当期純利益	230	150	80	53.3%		

料金スライドの収支への影響

億円

	今回7/30	前回4/28	増減
料金によるスライド回収	▲213	▲245	32
原料費の増加分	▲542	▲446	▲96
差し引き	329	201	128

基準価格に対する増減額

個別 営業主要計数・諸経費内訳

第2四半期見通し（今回（7/30）対前回（4/28））



1. お客さま件数 千件

	今回7/30	前回4/28	増減	
お客さま件数	10,287	10,287	0	-
新設件数	88	88	0	-

2. 個別ガス販売分析 百万m3 (45MJ)

		今回7/30	前回4/28	増減		備考
家庭用1件当り販売量 (m3)		143.0	145.6	▲ 2.6	▲ 1.8%	気温影響▲0.9m3(▲0.6%)、その他増減▲1.7m3(▲1.2%)
家庭用		1,251	1,277	▲ 26	▲ 2.0%	気温影響▲8百万m3(▲0.6%)、件数差▲3百万m3(▲0.2%)、その他増減▲15百万m3(▲1.2%)
業務用 工業用	商業用	980	979	1	0.1%	
	その他用	467	466	1	0.2%	
	業務用計	1,447	1,445	2	0.1%	気温影響▲6百万m3(▲0.4%)、その他増減+8百万m3(+0.5%)
	発電専用	881	918	▲ 37	▲ 4.0%	
	発電専用以外	1,410	1,446	▲ 36	▲ 2.5%	
工業用計	2,291	2,364	▲ 73	▲ 3.1%	既存物件稼働減	
計	3,738	3,809	▲ 71	▲ 1.9%		
卸供給		916	945	▲ 29	▲ 3.1%	気温影響▲1百万m3(▲0.1%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲28百万m3(▲3.0%)
合計		5,905	6,032	▲ 127	▲ 2.1%	気温影響▲15百万m3(▲0.2%)、発電専用▲37百万m3(▲0.6%)、工業用(発電専用以外)▲36百万m3(▲0.6%)、卸供給(気温影響除き)▲28百万m3(▲0.5%)、その他▲11百万m3(▲0.2%)
(内大口供給)		2,962	3,035	▲ 73	▲ 2.4%	

3. 諸経費内訳 億円

諸経費	今回7/30	前回4/28	増減		備考
修繕費	170	173	▲ 3	▲ 1.7%	
消耗品費	67	69	▲ 2	▲ 2.9%	
賃借料	100	100	0	0.0%	
委託作業費	301	303	▲ 2	▲ 0.7%	
租税課金	196	196	0	0.0%	
需要開発費	97	103	▲ 6	▲ 5.8%	ガス開発手数料減(実施時期変更)▲4億円 他
その他	173	179	▲ 6	▲ 3.4%	
合計	1,104	1,123	▲ 19	▲ 1.7%	

個別 営業キャッシュ・フロー及び設備投資内訳



営業キャッシュ・フロー
実績（当期 対 前期）

億円

	当期	前期	増減	
当期純利益	315	78	237	302.7%
減価償却	265	254	11	4.3%
営業キャッシュ・フロー (当期純利益+減価償却)	580	332	248	74.7%

設備投資内訳

実績（当期 対 前期）

億円

	当期	前期	増減	
製造設備	30	14	16	114.5%
供給設備	154	168	▲14	▲8.3%
業務設備他	11	7	4	41.0%
計	195	190	5	3.0%

製造設備 扇島工場タンク建設+12億円、根岸工場BOG設備他+4億円
 供給設備 安定供給関連▲16億円、設備更新入取替他+2億円
 業務設備他 システム開発他+4億円

第2四半期見通し（今回（7/30） 対 前回（4/28））億円

	今回 7/30	前回 4/28	増減	
当期純利益	230	150	80	53.3%
減価償却	543	543	0	-
営業キャッシュ・フロー (当期純利益+減価償却)	773	693	80	11.5%

第2四半期見通し（今回（7/30） 対 前回（4/28））億円

	今回 7/30	前回 4/28	増減	
製造設備	55	60	▲5	▲8.2%
供給設備	352	351	1	0.3%
業務設備他	57	62	▲5	▲8.0%
計	465	474	▲9	▲1.9%

製造設備 製造設備更新改修他▲5億円
 供給設備 需要開発関連+2億円、設備更新・改修他▲1億円
 業務設備他 システム開発他▲5億円

通期見通し（今回（7/30） 対 前回（4/28）） 億円

	今回 7/30	前回 4/28	増減	
当期純利益	330	330	0	-
減価償却	1,121	1,121	0	-
営業キャッシュ・フロー (当期純利益+減価償却)	1,451	1,451	0	-

通期見通し（今回（7/30） 対 前回（4/28）） 億円

	今回 7/30	前回 4/28	増減	
製造設備	172	172	0	-
供給設備	813	813	0	-
業務設備他	227	227	0	-
計	1,212	1,212	0	-

東京ガス株式会社

＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東
京ガスの対応等があります。

